

## 第3学年〇組 道徳科学習指導案

- 1 主題名 仕事をする事の喜び 内容項目 [C 勤労]
- 2 ねらい 誇りをもって勤労を行うために大切なことを話し合う活動を通して、仕事をする事の喜びについて考え、勤労によってより充実した生き方を実現していこうとする態度を育てる。

教材名 「あるレジ打ちの女性」 (出典 「あすを生きる3」 日本文教出版)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

「勤労」は、自分の務めとして心身を労して働くことである。人間生活を成立させるためには、自分のためだけでなく他の人のために働くことが極めて重要であり、他の誰かの役に立つことこそが勤労であるともいえる。仕事をする事の喜びとは給料をもらうことであるという考えも多くあるが、仕事をするとなぜ給料がもらえるのかと考えると、自分以外の誰かにとって価値あることを提供できたからである。

指導に当たっては、勤労の尊さを重んじる生き方について考えさせ、社会に貢献するために働こうとする意欲を育てていきたい。現実的に進路の選択を迫られる中で、個人の好みや経済性を優先させるばかりではなく、働くことによって生きがいを感じたり、人の役に立つことができたりすることに気付かせていきたい。

#### (2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

小学校高学年で「働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること」を学んできている。また、中学2年生では「そうじの神様が教えてくれたこと」

を教材として「意欲を高めて働くこと」を学習してきた。

本学級の生徒は、日記指導を通じて、様々な葛藤を経ながら自らの人生や生き方への思索を行い、夢や理想を持つようになってきている。その反面、勤労や職業となると個人の好み、お金に関することへと関心が向かいやすく、勤労を通して得られる自己有用感や成就感、充実感にまで考えが及ばない生徒も多い。本教材「あるレジ打ちの女性」の主人公のようにモチベーションが分からない、上がらない状態で仕事を行うことは今後の人生でも起こりうる。何のためにお金をもらいながら働くのかを真剣に考えさせる契機としていきたい。

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、何をしても続かない女性がレジ打ちの仕事を始め、次第に仕事をする事の喜びに気付き始めるという教材である。生徒は、勤労について考えたことはなかなかなく、働くことが生きがいになる、社会貢献になることに気付けることが少ない。お金のために勤労をしていた女性が様々なきっかけで仕事をする事に喜びを感じる様子から、勤労によってより充実した生き方を実現していこうとする態度を養うことのできる教材である。

本時では、勤労は人が一生で多くの時間を費やすものであり、少しでも充実したものにしていこうとする気持ちが必要不可欠であるということをもとに、誇りを持って勤労を行うために、誰かの役に立ちながら働くことが生きがいになること、それによって自分自身が成長していくことを理解させたい。

そのため、以下の場面に基に話し合うこととする。

#### ①女性がレジ打ちの仕事を極めようと心に決めた場面

教材冒頭では仕事が続かない自分に苦しみを感じている女性に共感を覚えさせながら、レジ打ちを極めていくと決めてからは仕事に邁進していった主人公の姿から、勤労を充実させるには自分自身がその勤労に対して心から意義を感じていることが重要であることに気付かせる。

#### ②お客さんからのあたたかい言葉によって、女性がレジで泣き崩れた場面

自分自身の頑張りが誠意となりお客さんに伝わっていたことに気付いた主人公の姿から、仕事をする事で誰かの役に立てる喜びについて考えさせる。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 ねらいとする道徳的価値について考えを深める指導の工夫

- (1) 導入 ・仕事についての生徒自身の体験を想起させる。
- (2) 展開 ・範読を2回に分け、教材のあらすじ及び女性の変化をわかりやすく捉えさせる。
- (3) 終末 ・生徒もよく知っている有名人やスポーツ選手の仕事に対する言葉を紹介することで、生徒の心に残るような終末とする。

5 学習指導過程

段階	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 1年時に行った職業体験時の写真を見る。 ・どのような体験だったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった。</li> <li>・勉強になった。</li> <li>・大変だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3日間の体験はどのようなものであったか想起させる。</li> </ul>
展開	2 教材「あるレジ打ちの女性」を聞き、話し合う。  最初～P173 6行目を範読する。 (1)女性は何のうち、どんなことを考えながらレジ打ちをしていたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな単純作業をするためにいるのではない。</li> <li>・やりたくない仕事だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読は2回に分けて行う。それぞれの箇所を読み終えたら、読んだ範囲分のあらすじを明示する。</li> <li>・周りとは相談する時間を取る。</li> <li>・自分に原因があることは分かっている女性自身の苦しみに気付かせる。</li> </ul>
	P173 7行目～最後を範読する。 (2)レジ打ちを極めた結果、女性はどうなことに目が向くようになったのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんの様子。</li> <li>・お客さんの行動パターンやクセ。</li> <li>・お客さんの特徴。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が、客の存在に目が向き始めたことに気付かせる。その結果、仕事が楽しいと感じ始めたことも確認する。</li> </ul>
	(3)どうしてこんなに泣き崩れたのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が必要とされていて嬉しい。</li> <li>・以前の自分を変えたことによって人に喜んでもらった達成感。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りとは相談する時間を取る。</li> <li>・感情が大きく動き、女性が仕事で大きな喜びを得たことを捉えさせる。</li> <li>・自分にとっての喜びに気付いた女性について捉えさせる。</li> </ul>
	(4)「お金を稼ぎたい」という気持ちのみで働くことは、良くないことか。 (中心発問)	<p>「良くないこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かの役に立つ喜びも必要だ。</li> <li>・生きがいとなるほうが良い。</li> <li>・お金だけでは人からの信頼を得られない。</li> </ul> <p>「良いこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金をもらうからこそ働く意味がある。</li> <li>・なんだかんだ言っても自分自身が幸せになることも必要だ。</li> <li>・良いことをしているから、お金を得ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布し、空欄に自分の考えを書き入れさせる。</li> <li>・「良い」「良くない」「どちらともいえない」の3つの立場のどこに自分が当てはまるか聞きながら、互いの意見を聞く。</li> <li>・お金だけでなく、社会を良くすることに貢献できるのが仕事であることをおさえる。</li> <li>・「良い」という意見も否定せず、自分の幸福を追求するために収入を得て働くことも勤労の意義</li> </ul>

	<p>3 本時の学習課題について自己を見つめる。</p> <p>これまでのあなたは、大人になって働くのは何のためであると考えていただろうか。今日の授業を終えて考えたことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金のためだけだと思っていた。</li> <li>• 自分本位な考えだった。</li> </ul>	<p>の一つであることをおさえる。</p> <p>☆勤労によって得られる喜びについて、様々な視点から捉えようとしている。(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークシートに記述させる。</li> </ul> <p>☆勤労によって充実した生き方をするために、自分自身がどう過ごしていくかを考えている。(ワークシートの記述)</p>
終末	<p>4 様々な職種で活躍している人物の言葉を知る。</p>	<p>「プロ野球選手になってから、人に喜んでもらうことが自分が野球をする意味になった。」 -イチロー</p> <p>「歌声を皆の携帯で聞いてもらうことで、少しでもファンにとって身近でいたいんですよ。」 -嵐 大野智</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ選手や有名人の勤労に対する言葉を紹介し、生徒の心に残るような終末とする。</li> </ul>

## 6 他の教育活動等との関連

事前指導	進路学習において、職業の種類やその職に就くための資格を取る方法などを生徒の興味関心に合わせ紹介する。
事後指導	生徒の書いたワークシートを抜粋したものを教室内の道德コーナーに掲示する。
家庭との連携	学級通信、道德通信に授業の様子を載せて発行する。
特別活動との連携	進路選択についての活動で、職業選択についての考えを生徒同士で交流する。

## 7 評価

### (1) 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 勤労によって得られる喜びについて、様々な視点から捉えようとしている。

【道德的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- 勤労によって充実した生き方をするために、自分自身がどう過ごしていくかを考えている。

### (2) 評価の観点

【教師の指導方法に関する工夫】

- 生徒が、仕事をすることの喜びについて考えを深めることのできる発問構成であったか。
- 内省化の時間を十分に確保することができたか。

## 8 板書計画

<p>教材名 あるレジ打ちの女性 テーマ 仕事をすることの喜び</p> <p>女性の仕事へのモチベーション 高 中 低</p> <p>レジ打ちを始めたとき</p> <p>こんなことをするためにいるのではない やりたくない仕事だ…</p> <p>● レジ打ちを極めていく</p> <p>● お客さんの様子 お客さんの行動パターンに目が向く お客さんの特徴</p> <p>● レジで泣き崩れた女性</p> <p>● 自分が必要とされて嬉しい 自身の成長を感じられる</p> <p>● お金を稼ぎたいという気持ちのみで働くことは…</p>
--

